

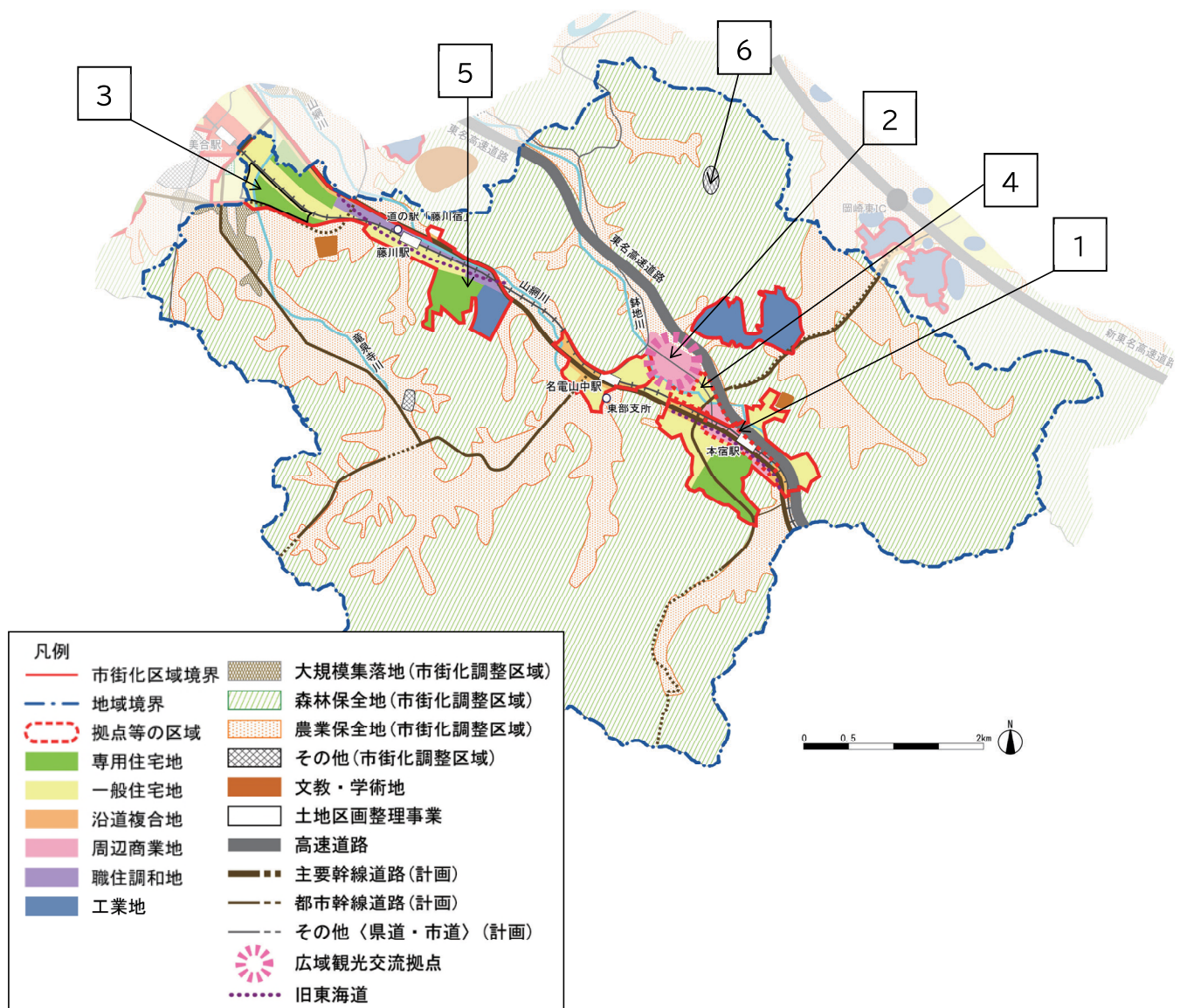
4 東部地域

まちづくりの将来像

国道1号沿いの市街化区域では恵まれた交通条件や旧東海道藤川宿などの歴史・文化的資源を生かしながら、本市の東の玄関口づくりを進め、地域の北側と南側では自然環境を保全するまちづくりを目指します。

まちづくりの目標

- 広域交通網へのアクセス利便性に優れた本宿駅周辺に、広域観光交流施設の立地による多様な交流と賑わいの創造
- 本宿駅周辺の生活利便性の向上と、豊かな自然環境の保全・活用による都市と自然の調和
- 鉄道、幹線道路を軸とした利便性が高く住み続けられる居住環境の形成
- 広域観光交流拠点により高まる回遊性を生かし、旧東海道藤川宿や法蔵寺、山中城址などの地域資源を活用した広域的な観光振興による地域の活力の向上
- 市民などととともに土砂災害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応



主な施策例

土地利用

- ・良質な居住環境の形成
- ・住居系市街地の形成
- ・広域観光交流拠点と連携した拠点形成・・・
[1]
- ・国道1号沿道での適正な土地利用の誘導
- ・沿道サービス施設の立地誘導
- ・教育機能の維持・充実
- ・広域観光交流拠点の形成・・・[2]
- ・良好な操業環境の保全
- ・無秩序な市街化の抑制
- ・市街化調整区域の自然環境の保全・活用
- ・集落環境の維持

市街地整備

- ・岡崎蓼川南部土地区画整理事業の促進・・・
[3]
- ・（仮称）岡崎本宿・池舞土地区画整理事業の
推進・・・[4]
- ・良好な住宅地の形成・・・[5]

道路・公共交通

- ・都市計画道路などの整備
- ・歩行者や自転車の通行空間の確保
- ・地域拠点におけるバス交通の連携強化

公園・緑地

- ・生産緑地の保全・活用

河川・上下水道

- ・河川改修などの促進

景観・自然環境

- ・旧東海道藤川宿の歴史的まちなみ景観の形
成
- ・市街地近郊の緑の保全・活用
- ・北山湿地の保全・・・[6]

防災

- ・公共施設の耐震化
- ・防災機能を有する道路や広場などの整備
- ・土砂災害の防止
- ・災害に備える体制の検討